

**渉外業務改革を実現する「次世代SFA・CRM／融資審査システム」の開発着手について
～【さらなる共同化へ】MEJAR5行による共同利用を実現～**

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、MEJARに参加している4行（注）、エヌ・ティ・ティ・データ・フォース株式会社（代表取締役社長 小松 正人）、および株式会社電通国際情報サービス（代表取締役社長 名和 亮一、以下「ISID」といいます。）との間で、渉外業務改革を実現する「次世代SFA・CRM／融資審査システム」の開発に着手しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

（注）横浜銀行、北陸銀行、北海道銀行、および東日本銀行の4行。

記

1. 背景

地域金融機関をとりまく経営環境は、人口減少による資金需要の減少や低金利環境の継続、他業態からの参入による競争激化などから近年厳しさを増しており、多様化する顧客ニーズに対応しつつ、収益力の向上や合理化・効率化に繋げる仕組み作りがこれまで以上に重要となっています。

2. 内容

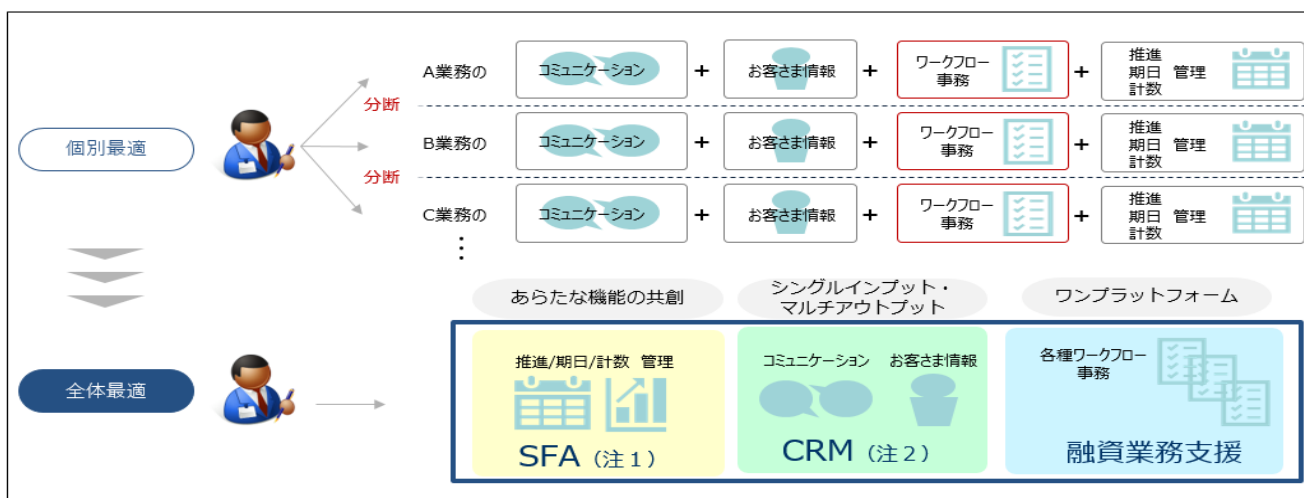
今般、渉外業務における提案力向上・営業力の底上げならびに当該業務の合理化・効率化を目的に、渉外業務改革を実現する「次世代SFA・CRM／融資審査システム」をMEJAR5行で共同構築することに合意し、開発に着手しました。

本システムの稼働により、渉外担当者の関連事務を大幅に削減し、その削減時間を渉外活動に充当することにより、渉外活動の「量」と「質」の向上を実現し、収益の向上を目指すものです。

なお、「次世代SFA・CRM／融資審査システム」の稼働は、2024年を予定しております。



3. 次世代SFA・CRM/融資審査システムのコンセプト



注1. SFAとは、Sales Force Automationの略称で、営業支援機能のこと。

注2. CRMとは、Customer Relationship Managementの略称で、顧客管理機能のこと。

(1) ISIDとMEJAR5行の知見を活用し新たな機能を共創

ISIDは、独自の融資業務統合ソリューションを有しており、これまでのソリューション提供を通じて培った融資業務ノウハウとそのシステム開発実績が豊富です。

今回、ISIDとMEJAR5行の知見を活用し、従来の『顧客管理』・『融資審査』にかかわる業務プロセスの機能に加え、『営業支援』の強化を目的に新たな機能を共創することにより、渉外活動の『量』・『質』の向上が可能となります。

(2) シングルインプット・マルチアウトプット/『顧客』情報起点の実現

顧客情報の重複入力や連携不備をなくし、1回の情報入力で様々なデータ/帳票に自動反映が可能なシングルインプット・マルチアウトプットを実現します。また、融資業務や営業管理など『業務』起点の個別最適を重視した仕組みから、『顧客』情報を起点に業務を横断的に捉えることができる、全体最適のシステムを構築することにより、顧客ニーズに対してきめ細やかな対応や最適なサービス提案が可能となります。

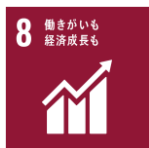
(3) AWS上にSFA・CRM・融資審査システムをワンプラットフォームで構築

これまで複数のシステム上で個別に実現していた『営業支援』・『顧客管理』・『融資審査』の業務プロセスの機能を、AWS(注)上にワンプラットフォーム型のシステムとして構築することにより、個人・法人を含む顧客に関わるあらゆる情報を一元管理することが可能になるとともに、AWS上の他サービスとの連携が容易になることから、適切なタイミングで付加価値を付けた情報を利用するなど、渉外業務の高度化・効率化が可能となります。

注. AWSとは、Amazon Web Servicesの略称で、Amazonが提供するクラウドサービスのこと。

なお、Amazon Web Services、AWSは、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

4. 関連するSDGs



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十セブグループは2020年7月に「七十セブグループのSDGs宣言〜もっと、ずっと、地域と共に。〜」を表明しました。

以上